

アートプロジェクトのこれから

—あいちトリエンナーレとソーシャルアートラボの取組を通して—

ゲスト： **港千尋** (写真家・著述家・あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督・Art Bridge Institute ディレクター)

ホスト： **中村美亜** (九州大学大学院芸術工学研究院准教授、九州大学ソーシャルアートラボ・副ラボ長)

2016. 6. 20 (MON) 9:45 open / 10:00 start

会場：九州大学大橋サテライト「ルネット」 福岡市南区大橋1-3-27

入場無料 (要事前申込み)

九州大学ソーシャルアートラボでは、毎回ゲストをお招きし、アートと社会の未来について語り合う「ソーシャルアート Cafe」を開催しています。今回は、写真家であいちトリエンナーレ 2016 芸術監督の港千尋さんの福岡来訪にあわせて、急遽お話を伺う機会を設けました。テーマは、「アートプロジェクトのこれから」。あいちトリエンナーレ 2016 で実施される企画や、九州大学ソーシャルアートラボの取り組みを紹介し、その情報交換とディスカッションを通じて、地域とアートのこれからについて考えます。

港千尋



(写真家・著述家・あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督・Art Bridge Institute ディレクター)
1960年神奈川県生まれ。写真家・著述家。多摩美術大学美術学部情報デザイン学科教授(映像人類学)。早稲田大学政治経済学部卒業。2013年より国際交流基金国際展事業委員を務める。群衆や記憶など文明論的テーマをもちつつ、研究、作品制作、展覧会、出版、キュレーション等、幅広い活動を続けている。著作『記憶—創造と想起の力』(講談社/1996)でサントリー学芸賞、展覧会「市民の色」で伊奈信男賞を受賞。2006年に釜山ビエンナーレ共同キュレーターを、2012年に台北ビエンナーレ共同キュレーターを務める。2007年にはヴェネツィアビエンナーレ国際美術展日本館のコミッショナーも務めた。NPO 法人 Art Bridge Institute 代表理事。あいちトリエンナーレ 2016 芸術監督。

■申し込み方法

下記の項目を記載のうえ、メール・FAX のいずれかよりお申し込みください。また、ソーシャルアートラボ公式 Facebook ページからもお申し込みいただけます。

《記載事項》①氏名(フリガナ) ②電話番号 ③メールアドレス

■問い合わせ先

九州大学ソーシャルアートラボ

TEL & FAX 092-553-4552

E-mail : sal@design.kyushu-u.ac.jp

URL : <http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp>

【主催】九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ 【共催】公益財団法人福岡市文化芸術振興財団

【後援】日本アートマネジメント学会九州部会 【助成】平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業